

## E N E O S スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE Rd.6 岡山国際サーキット



10月26日(土)~27日(日)、岡山国際サーキット(岡山県)にてE N E O S スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第6戦が開催された。昨年はST-2クラスが対象外となっていたため、Honda R&D Challengeとしては2年ぶりの岡山戦参戦となった。

今シーズン初めからエンジン制御に不具合を抱えていたが、抜本的な改善を目指してこのレースから制御システムを変更。通常のレースよりも多くのメニューをこなしながらの参戦となった。

### QUALIFY / 予選

木曜・金曜のセッションにて変更したシステムの確認を終えることができ、エンジンに関する不具合は大幅に改善された。前戦までのレースでコーナリングスピードには手応えを感じていたため、上位獲得を目指して土曜日の予選に臨んだ。

13時55分から行われた予選セッションでは、Aドライバー石垣選手が1分40秒336、Bドライバー尾藤選手は1分40秒751を記録し、A/Bドライバーのタイムを合算した総合順位ではクラス2番手を獲得。ポールポジションは逃したものの、4台が参戦するシビック勢の中では最上位となった。また、2位から6位までが1秒以内にひしめく結果となり、決勝も熾烈な争いが予想される。

<予選リザルト>

Pos.	No.	Car	A Dr. Time	B Dr. Time	Total Time
1	6	新菱オート DXL 夢住まい館 EVO10	1'39.886	1'39.827	3'19.713
<b>2</b>	<b>743</b>	<b>Honda R&amp;D Challenge FL5</b>	<b>1'40.336</b>	<b>1'40.751</b>	<b>3'21.087</b>
3	225	KTMS GR YARIS	1'40.430	1'40.664	3'21.094
4	72	OHLINS CIVIC NATS	1'40.969	1'40.647	3'21.616
5	95	SPOON リジカラ CIVIC	1'40.750	1'40.965	3'21.715
6	13	ENDLESS GR ヤリス	1'41.117	1'40.784	3'21.901
7	7	新菱オート VARIS☆DXL☆EVO10	1'40.653	1'41.836	3'22.489
8	36	HCM 内野製作所 FL5	1'42.261	1'48.682	3'30.943



**RACE / 決勝**

2 レース制の岡山戦、ST-2 クラスは 13:30 にスタートを迎え、3 時間の決勝レースに臨んだ。

いまでも雨が落ちてきそうな曇り空の下、スタートを担当した C ドライバー木立選手は 2 位をキープしたまま周回を重ねていく。途中 3 位にポジションを落とすものの、後続を従えたまま 26 周目に A ドライバー石垣選手に交代。堅実な走りをしていく中、雨が降り出し徐々に路面を濡らしていく。滑りやすい状況になっていくが、4WD 勢と遜色ないタイムで走行を続け、66 周目に B ドライバー尾藤選手にステアリングを託す。雨はすでに上がっており、ドライコンディションの中を上位勢と同等のラップタイムで走行する尾藤選手は、その後も安定したペースを刻み続けてチェッカーを受けた。Honda R&D Challenge FL5 はクラス 3 位で完走を果たし、今シーズン 2 度目となる表彰台を獲得した。

<決勝リザルト>

Pos.	No.	Car	Laps	Total Time	Gap
1	6	新菱オート DXL 夢住まい館 EVO10	101	3:01'16.567	
2	225	KTMS GR YARIS	101	3:01'19.576	3.009
<b>3</b>	<b>743</b>	<b>Honda R&amp;D Challenge FL5</b>	<b>101</b>	<b>3:01'43.268</b>	<b>26.701</b>
4	13	ENDLESS GR ヤリス	101	3:01'58.346	41.779
5	72	OHLINS CIVIC NATS	101	3:02'19.685	1'03.118
6	7	新菱オート VARIS☆DXL☆EVO10	100	3:01'42.847	1 Lap
* * * 以上完走 (規定周回数 ST-2 : 70Laps) * * *					
-	95	SPOON リジカラ CIVIC	77	2:38'23.312	24 Laps
-	36	HCM 内野製作所 FL5	62	3:01'36.681	39 Laps

## ドライバーコメント

### A ドライバー 石垣博基



前戦の鈴鹿から時間のない中、大掛かりな制御システム変更を行い事前テストも出来ていない状況でしたが、チームメンバー全員が懸命に準備にあたってくれたことで戦闘力のあるマシンで戦うことができました。

予選では、ミスはあったものの性能を出し切ることができ、良いタイムを刻むことができました。決勝では途中降り出した雨に苦戦しましたが、車両のバランスも良く、4WD 勢に後れを取ることなく周回することができました。

岡山国際サーキットでは2年ぶりの走行となりましたが、結果として予選・決勝ともFL5 勢の中でトップを取ることができ、これまでの悔しさを少し晴らすことができました。一方で、クラストップの車両とはまだ差がありますので、引き続きマシンを改善してさらに上を目指していきたいです。

いつもチームを応援していただいている皆様に感謝いたします。次戦が最終戦となりますが、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

### B ドライバー 尾藤成



今回のレースは、前戦までの不具合解消の為にマシンにかなり大きな変更を施したにも関わらず、メンバーの周到な準備、現地での迅速な対応によってトラブルはほぼ無く過ごす事ができました。B ドライバー予選では非常に接戦な中でなんとか4位に入り込み、AB 合算でクラス2位となりました。決勝では残り1時間で石垣選手からバトンタッチし、終始安定した挙動を示すマシンで安定したラップを重ねる事ができました。前戦までの不具合の気配は全くなく、マシンポテンシャルをしっかりと発揮する事ができました。不具合解決を強力に進めてくれたチームメンバー、ご協力くださった方々に心から感謝いたします。しっかりと戦えたことにより明確になった課題にアプローチしながら、最終戦では更に強くなって戦っていききたいと思います。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### C ドライバー 木立純一



レースウィーク金曜日からチームに合流して決勝へ向けたデータ取りと慣熟を中心に行いましたが、前回までの不具合が改善されており良いペースで走行できました。C ドライバー予選ではクラス4番手。FL5 勢の中ではトップタイムとなりました。迎えた決勝は、前回の鈴鹿戦に続きスタートドライバーを担当。クルマの調子が良く、スタート後トップを走る6号車についていくことが出来ました。途中95号車 SPOON リジカラ CIVIC にポジションを奪われましたが、その後は3位のポジションをキープし、石垣選手にバトンを渡すことができました。ここまで走ることが出来たのは、レースウィークに入るまで不具合改善に対し尽力してくれたチームメンバーのお陰です。心より感謝いたします。次戦はいよいよ最終戦の富士スピードウェイとなりますが、さらに良いパフォーマンスを出せるよう準備して参りますので、引き続きご支援よろしくお願いいたします。

## チーム監督コメント 長福夏紀

長く苦しんでいたエンジントラブルにより今シーズンは満足の行く戦いが出来ていなかった FL5 を抜本的に見直し、システムを根本から変更する決断を行いました。鈴鹿戦から岡山戦にかけてのリードタイムは1カ月。システム設計からインストール、確認まで含めると一刻の猶予もない状況で、我々にできることは何なのかをとことん話し合い、やるべきことを絞り込み、取捨選択とリソースの集中、作業分担を即断即決でやりぬいた結果、本当にギリギリではありましたが、岡山に間に合わせることができました。

監督として、チームメンバーに大きな負担を掛けているこの一カ月は胸が苦しく、何度も岡山参戦を諦めるべきかと自問自答を繰り返す毎日でしたが、誰一人諦めずギリギリの調整と作業を進めてくれているのを見てると、チームを率いる立場の人間として、諦めるという決断はできませんでした。これまでは監督や各領域チーフが先頭に立ってチームを主導/指導してきましたが、今回のトラブル対策はメンバーが主体となって検討計画実行までの全てを実施しており、とうとうこのチームが自立し、自らの足で歩み出したことを実感した瞬間でした。

HRDC が目指していた、「自ら育つ土壌環境」が今ここに成し遂げられつつあります。1秒でも速くなりたい、一周でも多く走りたい、ひとつでも前の順位でゴールしたい、という目標に向けて、課題はまだ山積みですが、チームはメンバーを最大限にサポートし、挑戦を続けていきます。皆様のご声援はメンバーの力と励みになります。引き続きご支援よろしくお願いします。

## チーム代表コメント 木立純一

前回の鈴鹿戦までトラブルに泣き、思うような結果を残すことが出来ませんでした。チームメンバー全員でトラブル解決を図り、ようやくこの岡山戦でその成果を得ることが出来ました。予選/決勝を通じ FL5 の持つ性能を存分に発揮できたことで、チーム全体の雰囲気も良くなりました。ここに辿り着くまで有りと有らゆる方向から問題解決を試みました。トラブル発生から解決までメンバー全員で考え実行したことで、個々の問題解決力は確実に向上しております。改めてレースは「ヒトと技術を鍛える」を実感した岡山戦となりました。関係各位におかれましては、今回も多くの方にご支援、ご協力を頂きありがとうございました。次戦の富士スピードウェイで、2024年のシーズンは終わりとなります。今シーズン得られた成果を存分に発揮して最終戦を締めくりたいと思います。引き続き HRDC へのご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## ポイントランキング

Rank	No	Car	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	Total
1	225	KTMS GR YARIS	22.00	18.00	30.00	---	30.00	15.00	---	115.00
2	13	ENDLESS GR YARIS	10.00	45.00	22.50	---	18.00	10.00	---	105.50
3	72	OHLINS CIVIC NATS	15.00	23.00	18.00	---	22.50	8.00	---	86.50
4	6	新菱オートDXL夢住まい館エボ10	4.00	37.00	2.00	---	2.00	22.00	---	67.00
5	743	Honda R&D Challenge FL5	8.00	27.00	9.00	---	6.00	12.00	---	62.00
6	7	新菱オートVARIS☆DXL☆EVO10	6.00	13.00	12.00	---	15.00	6.00	---	52.00
7	95	SPOON リジカラ CIVIC	12.00	0.00	15.00	---	12.00	0.00	---	39.00
8	36	HCM 内野製作所FL5	---	9.00	---	---	9.00	0.00	---	18.00

次戦は、11月16日(土)～17日(日) 富士スピードウェイ（静岡県）にて開催されます。  
引き続きご声援をよろしくお願いいたします

<問い合わせ先> ※メールでお願い致します。

チーム代表 木立 純一 Junichi\_Kidachi@jp.honda